

「令和4年度いわて新農業人チャレンジファーム第12回研修を開催しました！」

第12回の研修は、令和4年8月5日(金)、6日(土)に、雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の講義は、暑熱・台風対策及び太陽熱消毒についてでした。

暑熱対策では、「根張りを良くし、野菜が暑さに耐えられる基礎体力をつける」、「遮光資材を活用し、温度の上昇を抑える」といった対策について学びました。

受講生は、根張りを良くするには、固相、液相、気相のバランスがよい団粒構造の土が最適という説明から、第2回講義で学んだ土づくりの重要性をあらためて感じたようでした。

台風対策では、防風ネットを設置するなどの事前対策、野菜についた泥は洗い落として殺菌剤を散布するなどの事後対策を学びました。

実習では、キャベツの定植とだいこんのは種

を行い、その後、防虫ネットを張りました。

キャベツは、畦立て後に除草剤を散布したので、薬害が出ないように、植穴の土をそっと掘り出し、殺虫剤を「植穴土壌混和」してから、通路の土を使って苗を固定しました。

だいこんでの殺虫剤の使用方法は、畦の中央15cm幅で散布・混和する「播溝土壌混和」で、は種は、えだまめと同じ点播きをしました。

実習後は、野菜の生育状況を観察してから、ピーマンとじゃがいもの収穫をしました。

じゃがいもでは、日光に当たって緑色に変色した緑化いもがあり、ずいぶんと地表に近い場所にも、いもがあることを確認しました。

第13回の研修は、8月19日(金)、20日(土)に、同会場で、外部講師による「岩手の果樹栽培について」の講義、はくさいとリーフレタスの定植を実習する予定です。



講義「暑熱・台風対策について」の様子



だいこんをは種する様子



キャベツを定植する様子



じゃがいもを収穫する様子